

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

諸上 栄大

実施月日	令和5年7月4日(火)		
実施時間	13:00~14:35		
調査先	木更津市陸上自衛隊木更津駐屯地		
調査所在	木更津市陸上自衛隊木更津駐屯地		
調査の目的	V-22(オスプレイ)地上研修及び、航空機研修(CH-47他)		
調査先担当者	第一ヘリコプター団長 陸将補 廣瀬敏彦氏 他担当官		
内容・結果等	【目的】 自衛隊輸送機オスプレイ(V-22)配備計画が現在の木更津駐屯地から佐賀空港へ変更・決定されたことに伴い配備予定であるオスプレイ(V-22)の性能や機能について知識を持つ必要がある。また、水陸起動団が配備されている相浦駐屯地に近く、大野原演習場を持つ嬉野市にとって、どのような事が想定されるのかという点を目的に研修を行った。		
	【内容】実際にV-22(オスプレイ)の概要説明を受けた。現在、輸送ヘリとして活躍しているCH-47JAと比較した場合、最大速度がCH-47JAの約270km/hに対し、V-22は約2倍の約465km/hであり、航続距離については、CH-47JAの約800kmに対し、約3倍の約26,000kmである。また、V-22(オスプレイ)の最大飛行高度は約7,620mで、輸送ヘリCH-47JAの約2,800mよりもかなり高度なところを飛行することが理解できた。V-22の特性として、速度に応じナセル角(回転翼部分)を操作(自動・手動)しながら離陸・着陸することや、機能の多重保管や自動診断システム等を導入し、安全面にも配慮された性能であった。		
	その他の機体として、UH-47大型輸送機(乗員3名搭乗者55名。また、機内に高機動車両の搭載も可能)やEC-225LPヘリコプター(乗員2名、搭乗者20名の要人輸送ヘリ。)LR-2航空機(乗員2名、搭乗員8名。連絡や偵察を使用目的とした航空機)等の説明を受けた。		
	【まとめ・感想】		
	現在14機配備されている自衛隊輸送機V-22(オスプレイ)を実際に見学、搭乗したことで、その機能や性能安全面に対しての配慮の高さに驚いた。最終的には17機が佐賀空港に配備計画であるが南西諸島の防衛をはじめ日本全体の防衛、また、災害時支援として大きく貢献していくことが期待されることを感じた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費・宿泊費	祐徳旅行株式会社(宿泊パック)	60,930
	旅費(羽田~木更津駅)	高速バス	6,110
	(木更津駅~新橋)	高速バス JR他	
	合計		67,040

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 諸上 栄大

実施月日	令和5年7月5日(水)		
実施時間	10:00~11:00		
調査先	防衛省 防衛装備庁会議室		
調査所在	東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省との意見交換会		
調査先担当者	防衛省 防衛計画課長 伊藤伸哉氏 運用調整参事官 菊池哲史氏 施設計画課他		
内容・結果等	【内容】 挨拶 防衛省大臣官房審議官北尾昌也氏		
	(1)防衛省より説明 佐賀配備に係る現状 伊藤防衛計画課長		
	○ 厳しさが増す我が国の防衛体制の現況について		
	国民の暮らしを守り抜くうえで、まず優先されるべきは、我が国にとって望ましい国際環境をつくるための外交努力であり、外交には裏付けとなる防衛力が必要である。国際社会が戦後最大に試練の時を迎える日本周辺の安全保障の環境は世界的にも特に厳しく、欧州で起きていることはこの地域でも行う可能性がある。相手の能力に着目しつつ新し戦い方に対応できる防衛力を備えた国家になる必要がある。ということ、昨今の中国の国防費や北朝鮮の弾道ミサイル当の発射数の推移		
	緊急発進実施回数の推移等を説明された。オスプレイが佐賀空港に配備される目的やその重要性とは		
	固定翼機のように早い巡航速度と長い航続距離を有するとともに、高高度を飛行可能という特性が		
	オスプレイにはあり、島嶼防衛力の強化のためには不可欠な装備品である。また、高い能力を活用することで災害活動や離島における急患輸送にも極めて有益であるためであった。		
	○ 大野原演習場との関連性について 菊池運用調整参事官		
	具体的な大野原演習場を活用する計画は、実際にオスプレイが佐賀空港に配備されてから		
	計画を作成するため現状は未定。様々な地域への訓練計画が想定される中、大野原演習場の利用も		
	考えられないことはないとの説であった。【感想】オスプレイ佐賀空港配備は様々な考えがあると思うが、改めて防衛力の重要性を再認識した。演習場を有する嬉野市を含む具体的な訓練計画は未定とのことだが、相浦駐屯地の		
	水陸起動団との合同訓練は想定され、今後の訓練計画策定には十分注視していきたい。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
旅費・宿泊費		祐徳旅行株式会社(宿泊パック)	
旅費(羽田~木更津駅)		高速バス	
(木更津駅~新橋)		高速バス JR他	
合計			

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。